



2022年7月31日

イオン北海道株式会社

イオン北海道は地域遺産を未来に引き継ぐ活動を応援します 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」応援カードを発行

北海道遺産協議会へ2021年度寄付金約1,506万円を贈呈

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、7月31日（日）に開催される『「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録1周年記念シンポジウム』において、2021年度の「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金をNPO法人 北海道遺産協議会（以下、北海道遺産協議会）へ贈呈します。

また、北海道遺産「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」が含まれる「北海道・北東北の縄文遺跡群」が2021年7月に北海道で初となる世界文化遺産に登録されたことを記念して、8月1日（月）より、電子マネーのご当地WAON「北海道・北東北の縄文遺跡群」応援カードを、道内の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など124店舗で数量限定販売します。



<「北海道・北東北の縄文遺跡群」応援カード>

北海道とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、北海道の一層の活性化と道民サービスの向上に協働して取り組むことを目的に、2011年7月に包括連携協定を締結し、その取り組みの一つとして「ほっかいどう遺産WAON」を発行しました。このカードをイオングループ各店舗やWAON加盟店で利用していただくことにより、その利用金額の一部を北海道遺産協議会に寄付し、各地の北海道遺産を次の世代に引き継いでいく活動に役立てていただいております。

2021年度の「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金総額は1,506万4,478円となり、寄付金の一部は、北海道遺産「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」の“道南ご当地カックー第2弾&子どもたちへの縄文文化普及啓発事業”や“内浦湾の縄文遺跡群の観光による広域的な地域振興活用の研究・提案”など20件に活用されます。なお、2011年度からの寄付金累計は約1億2,775万円となりました。

今回、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことを記念し数量限定販売する「北海道・北東北の縄文遺跡群」応援カードは、絵柄には北の縄文バージョンのキュンちゃんをはじめとする、北海道内の縄文キャラクターたちが描かれています。

当社は、今後ともお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、未来へ伝えたい北海道の文化や自然などの保全活動を支援してまいります。

【「ほっかいどう遺産WAON」寄付金贈呈について】

1. 贈 呈 先：NPO法人 北海道遺産協議会
2. 贈 呈 金 額：1,506万4,478円
3. 贈呈金額対象期間：2021年3月1日～2022年2月28日

【「北海道・北東北の縄文遺跡群」応援カードの発行について】

1. 販売日：2022年8月1日（月）
2. 販売場所：道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「フードセンター」「ザ・ビッグ」124店舗
3. 発行枚数：10,000枚 ※なくなり次第販売終了となります。
4. 発行手数料：1枚300円（税込）
5. チャージ可能金額：上限5万円 ※一回あたりのチャージ限度額は4万9千円までとさせていただきます。



カード表面に描かれているキュンちゃんは、北海道の観光PRキャラクターで、北海道にすむエゾナキウサギがモデルとなっており、見るもの触れるものの気持ちを「キュン」と感動させることが名前の由来となっています。今回の券面には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を契機とした取り組みの一環として誕生した、縄文ファッションや土偶とコラボした「キュンちゃん」の北の縄文バージョンを描いています。裏面には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」に登録された大船遺跡（函館市）や北黄金貝塚（伊達市）、入江貝塚（洞爺湖町）やキウス周墓群（千歳市）の写真と北海道内の縄文キャラクターを描いています。

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道(株)環境・社会貢献・広報・IR部広報・IRグループ 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みはSDGsの目標4、8、9、11、14、15、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



ご参考

■「ほっかいどう遺産WAON」の概要について

発行日：2011年7月28日

発行手数料：300円（税込）

※iOS版「WAON」アプリでも発行が可能です。その際、発行手数料は無料になります。

累計寄付金額：1億2,775万1,504円

発行枚数：約29万枚（2022年6月末現在）

寄付活用先：北海道遺産に活用

使用可能場所：道内の1万3,400箇所（2022年2月末現在）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

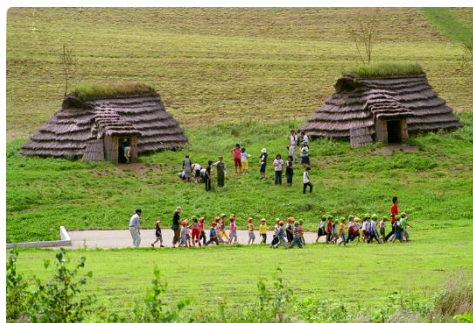
使用箇所一例：イオン系列スーパーや「ローソン」、「ファミリーマート」、「セイコーマート」、「ツルハ」、「サツドラ」など



■ 2021年度寄付金による「ほっかいどう遺産WAON」助成先活動一覧

No	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	増毛山道と濃屋山道	増毛町、石狩市	特定非営利活動法人 増毛山道の会	増毛山道の歴史や遺産の広報、ツアー、維持管理活動	500,000
2	北海幹線用水路	空知地域	疏水(そすい)ほっかい愛護連絡協議会	北海道遺産「北海幹線用水路」の景観保全と環境整備の活動	500,000
3	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	縄文DOHNAN プロジェクト	道南ご当地カック-第2弾& 子どもたちへの縄文文化普及啓発事業	500,000
4	天塩川	流城市町村	音威子府村若手まちづくりグループnociw*	天塩川流域移動史探訪事業	500,000
5	利尻島の漁業遺産群と生活文化	利尻島	利尻しまじゅうエコミュージアム	北海道遺産「利尻島の漁業遺産群と生活文化」の島外への普及活動とガイドブック制作	500,000
6	空知の炭鉱関連施設と生活文化、小樽みなとと防波堤、小樽の鉄道遺産、北海道の集治監(樺戸、空知、釧路、網走、十勝)	空知地域、小樽市、月形町、三笠市、標茶町、網走市、帯広市	炭鉄港推進協議会	幌内鉄道全線開通140周年 & 室蘭本線開業130周年地域プロモーションの実施	500,000
7	函館西部地区の街並み、福山(松前)城と寺町、姥神大神宮波御祭と江差追分	函館市、松前町、江差町	蔵サミット実行委員会	北海道の北前船から始まる北方圏交流文化の宝箱を集めよう！ ～KURA～蔵サミットの開催	500,000
8	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	伊達洞爺湖ミュージアム地域振興プラットフォーム	世界文化遺産登録の内浦湾の縄文遺跡群の観光による広域的な地域振興活用の研究・提案	400,000
9	サケの文化	石狩市	一般社団法人石狩シェアバビリティ計画	北海道遺産「サケの文化」の次世代担い手発掘プロジェクト	350,000
10	大友亀太郎の事績と大友堀遺構	札幌市	札幌村郷土記念館保存会	札幌黄の生みの親 ウィリアムP.ブルックス博士に関するパネル展示	350,000
11	スキーとニセコ連峰、アイヌ文様、アイヌ語地名	ニセコ地域、北海道各地	ニセコ発祥ツーリズム推進協議会	北海道遺産「スキーとニセコ連峰」などの地域資源の活用によるニセコ発祥ツーリズム推進事業～webサイト制作～	320,000
12	札幌軟石	札幌市	札幌軟石ネットワーク	PRツール(小冊子)の作成	300,000
13	北海道の馬文化	北海道各地	ワッツドさんこ馬乗馬クラブ	北海道和種馬による介護予防乗馬推進事業	300,000
14	旭橋	旭川市	旭橋を語る会	北海道遺産「旭橋」架橋90周年記念事業	300,000
15	空知の炭鉱関連施設と生活文化	空知地域	三笠市(代表申請) 三笠振興開発株式会社(実施主体)	幌内鉄道140周年記念イベント	280,000
16	石狩川	流城市町村	石狩川下覧権	北海道遺産石狩川の体験・PR活動	200,000
17	五稜郭と箱館戦争の遺構	函館市	特定非営利活動法人市民創作「函館野外劇」の会	函館野外劇	200,000
18	野付半島と打瀬舟	別海町、標津町	野付半島自然環境保全協会	野付半島で確認された昆虫類の写真パネル作成展示活動	200,000
19	小樽の鉄道遺産	小樽市	NPO法人北海道鉄道文化保存会	旧国鉄手宮線跡「花と鉄道の散策路」花壇の造成と育成活動	200,000
20	ピアノン記念館	北見市	特定非営利活動法人 ピアソン会	映画会「われ弱ければ、矢嶋梧子伝」 三浦綾子原作	100,000

* 北海道遺産の一例 *



〈内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群〉



〈北海幹線用水路〉



〈増毛山道と濃屋山道〉

■北海道遺産について

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から選ばれております。2001年10月22日に第1回選定分25件が、2004年10月22日に第2回選定分27件が、2018年11月1日に第3回選定分15件が決定・公表され、北海道遺産は総計67件となりました。

昨年の、10月13日（どーいさんの日）からスタートした、第4回選定は、今年のどーいさんの日に選定結果を公表予定です。今後も北海道遺産地域との交流を深めながら、北海道遺産の普及開発活動を推進します。



■北海道との取り組みについて

当社は、北海道との包括連携協定を基に、ご当地WAONを通じた寄付をはじめとして、まちづくり活動の推進や環境保全活動など、さまざまな取り組みを実施しております。

一例として、消費が盛り上がる年末年始から2022年2月に向けて、道内にて道産食品のPRを行い、道民みんなで道産食品を食べて北海道の生産者を応援する北海道主催の「今こそ食べよう北海道」キャンペーンに賛同し、北海道産品の消費機会拡大を図るとともに、2022年1月には「今こそ食べよう北海道」のPRイベントをイオンモール札幌発寒で開催しました。また、サッポロビール株式会社さまとの共同企画で、「サッポロ生ビール黒ラベル」の売上本数に応じて、北海道が実施する地域医療を守るための寄付プロジェクト「エールを北の医療へ」に寄付するキャンペーンを昨年に続き実施したほか、北海道に貢献する意欲のある若者の海外での挑戦を官民一体となって応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の店頭の募金活動や、埼玉県にある商業集積「イオンレイクタウン」における北海道フェアへの出展誘致などを継続して実施しています。

そのほか、2022年1月には、当社の「植樹活動」を通じた生物多様性保全を念頭に置いた森づくりや子どもの環境教育にもつながる「イオン チアーズクラブ」の活動、毎月11日のイオン・デーに従業員が地域の清掃等のボランティア活動を行う「クリーン&グリーン活動」などが評価され、北海道が主催する「令和3年度北海道生物多様性保全実践活動賞（通称：未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞）」で表彰を受けました。



▶「今こそ食べよう北海道」PRイベント



▶サッポロ黒ラベルの売上の一部を「エールを北の医療へ」に寄付